

2024年8月28日

各位

近江トラベル株式会社

敦賀水島航路における船舶浸水時の不適切な対応についてのお詫びとお知らせ

近江トラベル株式会社（本社：滋賀県彦根市、代表取締役：伊藤 孝樹）では、敦賀水島航路において、船舶への浸水が認められたにも関わらず直ちに旅客運航を中止せず、また速やかな監督官庁への報告を怠り、その後、船舶修理後に検査を受けないまま船舶を使用した事態が発生いたしました。

お客さまをはじめ、関係の皆さまには多大なご心配・ご迷惑をお掛けいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。

当社といたしましては今般の事態を厳粛に受け止め、全社を挙げて安全管理体制の再構築に取り組む、再発防止および信頼回復に努めてまいります。

なお、本件の顛末は監督官庁に報告しており、現在、必要な調査に協力しております。

詳細につきましては、下記のとおりです。

記

1. 対象船舶 第八観光丸（旅客定員 60 名）

- ・オーミマリン敦賀営業所（福井県敦賀市蓬萊町 17-26）に所属
- ・敦賀水島航路を就航

2. 概要

8月10日（土） 16時45分頃、旅客運航が終了し敦賀営業所へ回航（回送運航）する際に前方を回航する第八観光丸の船尾に不自然な横揺れがあることを後続する第七観光丸の船長が確認。敦賀営業所に帰港しハッチを開け確認したところ船尾の床下に水が溜まっていたため、ポンプによる排水を実施。

8月11日（日） 8時39分頃より旅客運航を開始。

12時46分頃、お客さま乗船の際に船体の傾きに違和感を覚えたため、色ヶ浜栈橋にて、第八観光丸の船体を目視したところ右舷後方（右側側面の船尾）に亀裂箇所があることを確認したが、運航を継続。

13時57分頃、色ヶ浜栈橋到着後に船尾の床下を確認したところ、昨日と同程度、水が溜まっていることを認めたため、安全統括管理者に報告し運航中止の指示を受けたが、亀裂が海面より上部であったため船長の判断により運航を継続。

14時43分頃、色ヶ浜栈橋にて協力企業と亀裂の状況を確認し、協力企業に修理方法を確認。当日はこれ以降、当該船舶での旅客運航を中止。

その後、当社敦賀営業所において修理を実施。

- 8月12日（月） 発航前点検において浸水はなかったことから当該船舶の使用を再開し、以降、浸水の有無を確認しながら15日（木）まで旅客運航を継続。
- 8月16日（金） 台風による悪天候のため欠航。
- 8月17日（土） 当社の親会社である近江鉄道株式会社に本件を報告し、同社より浸水発生時に必要な対応について監督官庁への照会の指示を受け、その後、監督官庁への照会を開始。
- 8月19日（月） 11時50分頃、日本小型船舶検査機構に訪問し事案を報告。その際に船舶の使用中止の指示を受け、12時より当該船舶による旅客運航を中止。14時00分頃、監督官庁に訪問し事案を報告。

3. 原因

- ・ 運航の安全および船舶事故に対する意識の欠如
- ・ 船舶への浸水判明から運航再開に至るまでに必要な一連の手続きの理解不足

4. 再発防止策

速やかに、全社員に対して今回の事象を周知するとともに、安全を最優先に取り組む意識や船舶浸水の適切な対応について再教育を実施しました。

現在行われている監督官庁の調査へ全面的に協力してまいるとともに、監督官庁の指導のもと、全社を挙げて安全管理体制の再構築を図ってまいります。

5. 備考

第八観光丸は外部検査機構への検査の申請を行っており、近日中に当該船舶の検査を受ける予定です。

6. 本件に関するお問合せ先

近江トラベル株式会社 業務部管理課

TEL. 0749-22-3308（平日 10：00～17：00）

以上